

外国語科学習指導案

指導者 森澤 葉子

- 1 日 時 令和 6 年 11 月 16 日（土） 第 1 校時（9：00～9：50）
- 2 学年・組 中学校第 2 学年 1 組 計 40 名（男子 21 名，女子 19 名）
- 3 場 所 中学校 2 年 1 組教室
- 4 教材名 NEW HORIZON 2 Unit 6 Research Your Topic
- 5 教材について

2024 年のノーベル平和賞に日本原水爆被害者団体協議会が選ばれ，日本からは 50 年ぶりの受賞となった。被爆者の平均年齢が 85 歳を超え伝承が困難とされる中，今回の受賞により，平和と戦争について次世代へつなぐことの大切さを改めて実感できる年である。

本単元では身近なトピックを通して，調査や発表の効果的なやり方について考え，特徴を比較しながら説明することができる力を身に付けることができる。ヒロシマの記憶を継ぐ人インタビューで受け継ぐ側，語り継ぐ側としてお話をされている広島大学名誉教授の鎌田七男先生のインタビュー内容をインプットの資料として提示し，世界に平和を伝えることの大切さ，インターネットには書かれていないことを伝えていくために必要だと思うこと，どのような内容を語り継ぐことが大切だと思うか，ということについて自分の意見を考え，意見交流し，アウトプットの活動としてポスターづくりを行うという単元開発を行った。

3 月に行ったアメリカの姉妹校生徒の交流で，アメリカでは平和学習があまり行われていない事実を知り，その上でも自分の意見をしっかりと持っていることに生徒が感銘を受けていた。そこで本年度は，生徒の思考を深め，適切な表現を用いて発信できる生徒の育成を目指すという昨年度の課題と，自分の意見をもって発信することに重点を置き，授業実践を行っている。

昨年度の校外学習で被爆の実相や自分たちが考える平和について姉妹校生徒に発表し，意見交流を行った活動を経て，今年度は知識をつなげることに挑戦した。総合的な学習の時間のみならず，社会科の「過去の伝承と未来に向けた社会づくり」の単元で，東日本大震災の様子や教訓などを自分の言葉で説明する活動を行った。誰かが発信していかなければならないということ，どのような内容を語り継ぐことが大切かということを軸に，個々で考えたことを発表する活動を通し，社会の授業で得た知識を英語科に活用する活動を仕組んだ。

今年度も，生徒が自分たちで考え表現する活動に重点を置き，AAR サイクル（Anticipation, Action, Reflection）で授業実践を行うこととした。また，何をどこまで伝えることが本当の“伝える”ということになるのか，という意見が生徒から出たため，生徒がより主体的に参加できるようにループリックを学級で話し合って作成した。このループリックを元に，自分や友達の見解に対してフィードバックを行いながら，より適切な表現や内容になるように自己調整していく姿を目指す。なお今回の授業では，先に述べたように，適切な表現を用いて発信すること，自分の意見をもって発信することに重点を置いているため，思考力判断力表現力のみループリックを作成することとした。

6 教材の目標

- （1）語り継ぐべき内容を考え，姉妹校の生徒に向けてヒロシマと平和について英語で表現できる。
- （2）伝えたい内容や視点を自分たちで考えて伝えようとすることができる。
- （3）自分たちの考えや意見をポスターにまとめようとするすることができる。

7 指導計画（全 11 時間）

次	時	学習内容
1	1	Unit 6 文法①比較級・最上級
	2	Unit 6 文法②more・most の比較級・最上級
	3	Unit 6 文法③as ループリックを考える
	4	プレゼン資料の表現と読解
	5	意見交流に使える表現を学ぶ
2	6	広島の実爆者の現状や今後についての資料を読んで、自分事として捉えるとはどういうことか考えて述べ合う。
	7	インタビュー記事の資料を読んで、どのような内容を語り継ぐことが大切かということを考えて述べ合う。
	8	意見交流を行い、表現内容を工夫する①（本時 8 / 11）
	9	意見交流を行い、表現内容を工夫する②
	10	ポスター作成
3	11	姉妹校生徒に、平和の担い手としてできることについて意見交流する

8 本時の目標

個人の考えや意見の表現方法を工夫しよう【思考・判断・表現】

9 「教科等本来の魅力に迫るための教師の資質能力」との関連

基準	具体的な児童・生徒の姿
Ⅲ	資料を元に伝えたいことや伝えるべきことを考え、ループリックでのふりかえりを通して、表現方法や内容を試行錯誤し、適切な表現を用いて自分の意見を伝えることができている。語り継ぐことの大切さについて、根拠を用いて伝えることができている。
Ⅱ	資料を元に伝えたいことや伝えるべきことを考え、ループリックでのふりかえりを通して、表現方法や内容を試行錯誤し、適切な表現を用いて自分の意見を伝えることができている。
Ⅰ	内容が伝わる程度に伝えることができている。
手立て【関連する教師の資質能力】	
○ 生徒と一緒に創るループリック【授業実践力】	
○ ICT を使って適切な表現を用いて発信することができるような手立て【授業実践力】	
○ 他教科の知識をつなげる活動【授業構想力】	

10 学習の展開

学習活動と内容	指導上の留意点（◆評価）
---------	--------------

1. パターンプラクティス 本時の目標の提示（5分）	○ 意見交流で使える表現の練習
個人の考えや意見の表現内容を工夫しよう。	
2. 意見交流①（10分） ・資料をもとに、個人で意見を考えて班で交流する。 ・ループリックをもとに、相手の意見をフィードバックする。 3. 意見交流②（20分） ・異なる班のメンバーと意見交流を行い、内容面のアドバイスをもらう。 4. 意見交流③（10分） ・異なる班のメンバーからもらった意見を持ち寄り、班でシェアする。 5. ふりかえり（5分）	○ロイロノートに蓄積した表現を使って伝え、本時の活動で活用できるようにする。 ○自分の班のポイントを伝えてから意見を聞いてもらうようにする。 ◆ 資料をもとに自分の考えや意見を整理し、既習表現を用いてまとまりのある内容で話している。【思考・判断・表現】 ○自分で考えた表現内容が適切であったかどうかふりかえり、改善へつなげられるようにする。